

ユースケースを通じた共通基盤の議論について

1. 経緯

- 異なるシステム間における連携課題、共通基盤に必要な機能を抽出するためにはユースケースを設定し個別具体的な議論をすることが重要
- 本検討会構成員や各戦略協議会等の有識者から幅広くユースケースを募集
- 集められたユースケース **85件**より実現可能性の高い（ビジネスモデルが成立しそうな）**提案5件**を深堀の対象として選定
- 選定したユースケースの連携課題、共通基盤に必要な機能、推進体制を深堀

2. スケジュール

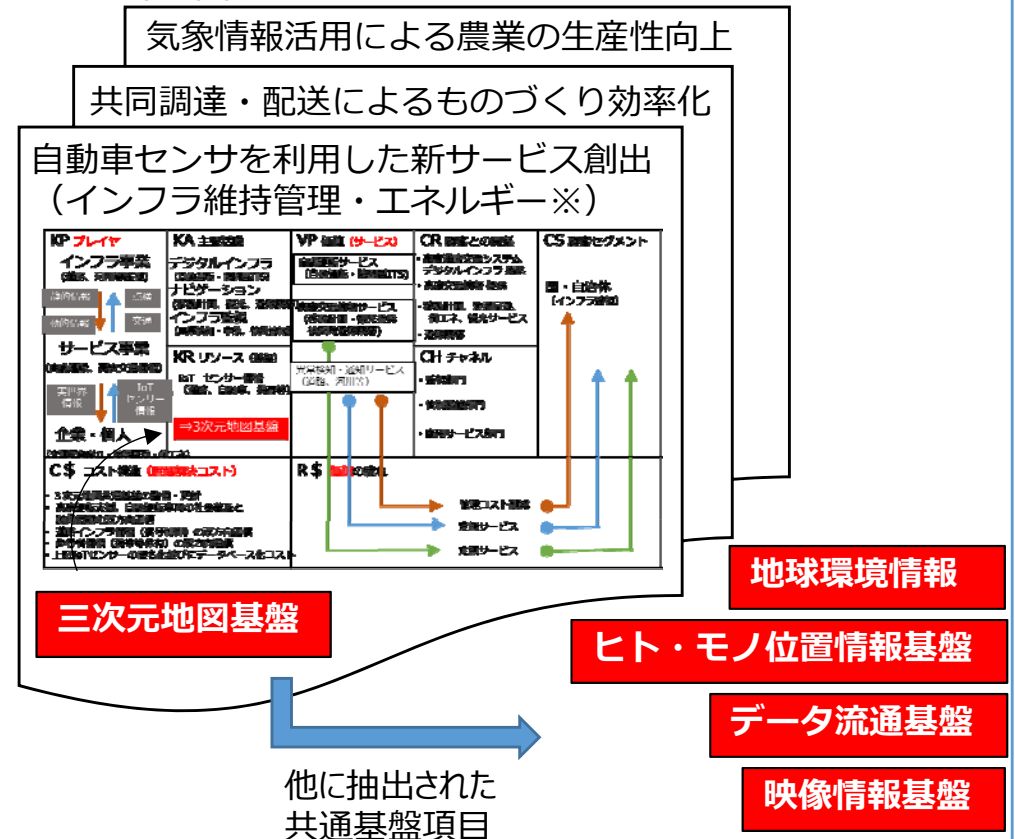
- 1/31 第二回検討会 ユースケース案募集
2/12 第三回検討会 ユースケース案について議論

※ユースケースの選定、深堀

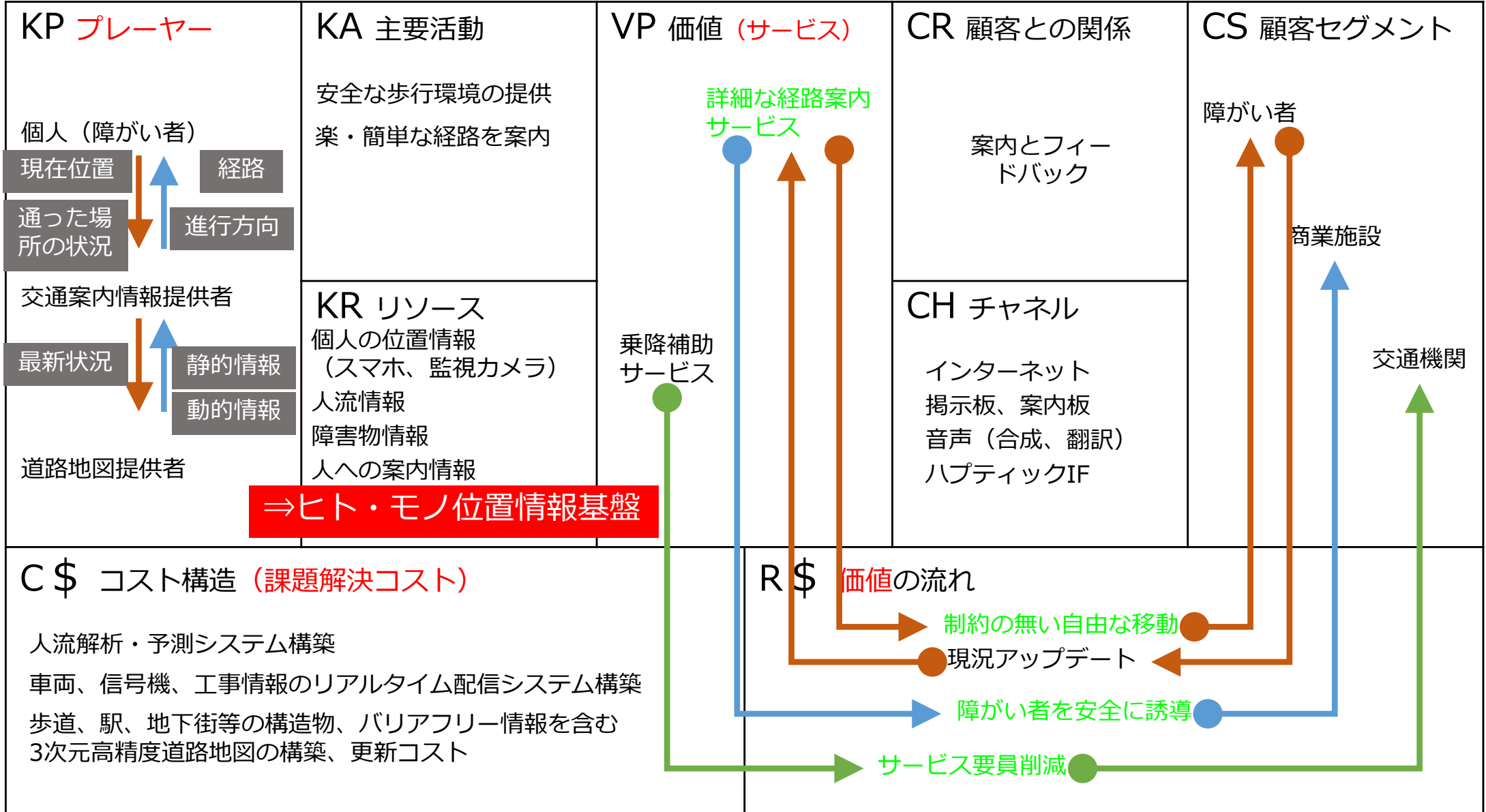
- 3/2 第四回検討会
- ・ユースケースをまたぐ共通的な事項の抽出
 - ・プラットフォーム構築に必要な技術的な課題や社会実装に向けた課題と留意事項の導出

- 3/25 第五回検討会
- ・共通基盤項目の深堀について

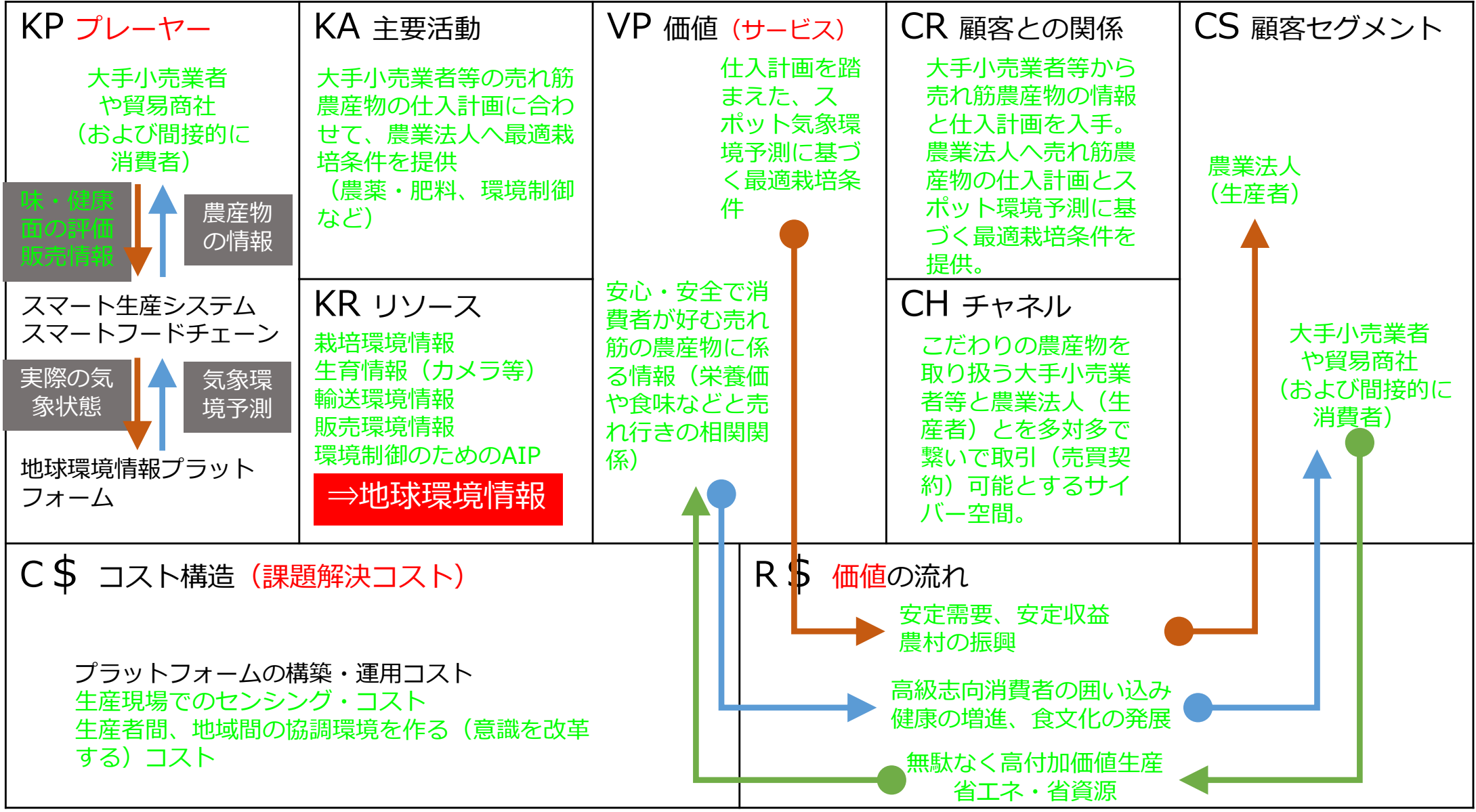
※選定作業概要 85件→5件



新No.	旧No.	価値カテゴリー	実現可能性	実現時期
12,13	40,41	利用者の安全・安心	低 中 高	短期 中期 長期 ~2020 ~2030 2030~



新No.	旧No.	価値カテゴリー	実現可能性	実現時期
47	3	農業の付加価値生産性	低 中 高	短期 中期 長期 ~2020 ~2030 2030~



新No.	旧No.	価値カテゴリー	実現可能性	実現時期
70,71	68,69	ものづくり効率化	低 中 高	短期 中期 長期 ~2020 ~2030 2030~

